

第2回金剛地区まちづくり会議

日時：平成29年6月24日（土）午前10時～正午

会場：金剛連絡所2階大ホール

<第2回金剛地区まちづくり会議を開催しました！>

第2回金剛地区まちづくり会議では、大阪府立大学の小野達也教授をお招きして「増進型ワークショップ」を行いました。



■増進型地域づくりとは

増進型地域づくりは、増進型地域福祉を基本にしたものです。

増進型地域福祉は、地域福祉の推進を目指すのではなく、実現を目指し、課題に対して、どうなればよいのかという望ましい、理想のあり方を話し合い、その理想の実現を目指して、協働の実践を進めます。その結果として、誰も疎外されることなく、個人の幸せと地域の幸せをともに産み出そうとする地域福祉です。

■ワークショップでは

ワークショップでは、まず4つのグループに分かれて、それぞれの参加者が金剛地区で気になることを出しあいました。

次に、出しあった気になることからテーマを決めて、それについての金剛地区の理想の姿、状態を考えました。

最後に、金剛地区の理想の姿、状態について話しあったアイデアを各グループが発表しました。



会の名称が「金剛地区まちづくり会議」に決定しました。また、次回は新たなメンバーの募集等、会の運営のあり方についても議論します。

金剛地区活性化を目指したワクワクするアイデアがたくさん出ました！！

- 参加者 地区住民 20名、
民生児童委員協議会 1名、ふらっとスペース金剛 2名、金剛銀座商店会 1名、第3圏域包括支援センター2名
- オブザーバー 富田林市社会福祉協議会 1名
- 進行 NPO 法人きんきうえぶ 5名

防災マップづくり、避難行動の練習、防災機器の備蓄、避難者の把握、自治会で「防災担当」の役職をつくるなど自治会単位で防災活動に取り組む。

小学校単位の防災訓練の実施、小中学校と地域の協働、体育館で防災グッズの紹介や販売会など小学校区単位で防災活動に取り組む。

地域単位での小さなイベントを増やす、婦人部のような組織づくりや若い世代間が交流できる場づくりなど、自治会を活性化する。
また、自治会と自治会のつながりづくりのために自治会相互の交流を行う。

世代を超えて誰もが気軽に立ち寄れる場や多目的に使用できる施設の設立。
ショッピングモールのたまり場の活用。
また、喫茶店の店主など、そこに集まる人を繋いでいく仕組みづくり。



防災モデルハウスの試験的導入。

家庭の防災対策についての各種情報提供や家庭で具体的にどんな備えが必要か知る機会（講演会など）をつくる。

ふらっと寄れるカフェ、青空カフェなど、地域の多世代の集いの場としてのカフェの開催。

地域の住民は、サービスの受け手であり担い手として集いの場を皆で運営。



高齢者が主体となれるイベント、多世代間の交流ができるイベント、運動会など大人数が集まるイベントなど、地域住民が集まるきっかけづくり。

特に男性が集まるきっかけづくり。

集会所、空き家、小学校、公園などを集いの場として活用。

(例) 空き家をカフェや買い物のできる場に。公園を憩いの場にしたり、防災の拠点にしたりする。公園でコンサートを開催、公園に足湯を作る。



ピュア金剛の跡地などにコンビニやお店を誘致して、買い物をしやすくし、またその場所を集いの場に。

医療関係者と連携し、各自治会にリハビリセンターを設ける。

ネットでの情報発信、ラジオ局の開設、SNS 活用のための勉強会など広報活動に力を入れる。情報格差をなくすために地域で積極的な声掛けなども行う。

次回はこれらの「取り組み（アイデア）」には何が必要か、

どのような資源が必要となるか？

実現のために自分たちにできること、この仲間のできること、

具体的行動を皆で考えます！